

3 取り組みの達成基準をつくる

<研修の位置付け>

取り組みを具体化するとともに、実施後に成果が検証できるように、重点化した取り組みについて、児童生徒の現状と比較しながら達成基準（何を、どのレベルまで、どのような方法で、いつまでに）を作成しましょう。

【目的】重点化した取り組みの達成基準を作成し、取り組みを具体化するとともに、実施後に成果が検証できるようにする。

【到達点】重点化した取り組みの達成基準を作成し、全体で共有する。

【準備物】模造紙（**達成基準作成シート**（p. 16）を拡大模写したもの）

達成基準作成シート マーカーペン

【進め方】（80分）

1 取り組みの達成基準を考える

- (1) 個人 (15分)
- ① 重点化した取り組みを三つ、達成基準作成シートの「取り組み」の欄に書く。
 - ② 達成基準作成シートの「現状」の欄に、①の取り組みの内容それぞれに関わる児童生徒の現状を、数値化したもの（児童生徒の現状に関する「見える化」の項目の例 p. 5 参照）等を含めて、具体的に書く。
 - ③ それぞれの取り組みの達成基準を、次の観点から達成基準作成シートの欄に書く。
 - ・ 何を（取り組みの達成度が検証できる具体的な内容。）
 - ・ どのレベルまで（設定した期限の最後にどのようになっているか。取り組みによっては数値化するなどの方法もある。）
 - ・ どのような方法で（目標を達成するための手段）
 - ・ いつまでに（期限）
- (2) グループ (25分)
- ① それぞれの取り組みの達成基準について、個人の考えを説明する。
 - ② グループで協議し、取り組みごとに達成基準を一つにまとめる。
 - ③ グループでまとめた結果を、模造紙に書く。
- (3) 全体 (35分)
- ① 模造紙を掲示し、グループでまとめた達成基準について説明をする。
 - ② グループの説明が終わるごとに、質疑応答を行う。
 - ③ 各グループから出された達成基準を基に協議し、より改善された達成基準をつくり、共有する。

2 個人で振り返る

- (5分)
- 研修を自己評価し、研修で共有した達成基準を基に、自分の取り組みをどのように進めるかを考えて、具体的に書く。